

2018(H30)年度省エネグループ活動報告

1. エコライフ・チャレンジ関係

2018 年度の実績

①夏エコチャレンジは参加校 8 校、参加児童 601 人(前年夏期比 280 人減)でした。

冬エコライフ・チャレンジは 4 校の応募(参加予定児童 531 人)がありましたが、1 月末現在回収済みの学校はありませんので、該当校に回収方を依頼中です。回収が済み次第、集計および報告書を作成し 2 月末をめどに各学校に報告する予定です。

②2005 年からの参加児童の累計は以下の通りで、2018 年(夏期)までに約 16,921 人が取り組みました。



③夏エコの成果

【チャレンジ結果】自分で選んだメニューを加えると「良くできた」の割合が、12.4%増えました。子どもたちは実際にエコライフを体験する事により地球温暖化について理解し、温暖化防止のために意識して続けていくモチベーションを高めています。このことは毎年家庭内にも波及し、家族が協力して取り組むキッカケになっています。

【節電効果】

今夏に回答のあった家庭200件の電気使用量は昨年夏に比べて、合計=6,014kwh(7.6%)の増加でした。

今年の夏は昨年にも増して猛暑が続いたため、冷房などの電気使用量は大幅に増加しました。チャレンジではカーテンやすだれの活用、扇風機との併用、涼風時の風通しをよくするなど、いろいろな工夫をこらして対処され、エアコンも熱中症など健康に留意しながら適切に使用されていました(チャレンジ後の感想より)。

【二酸化炭素削減効果】

7日間チャレンジした結果、約2,500kg-CO₂のCO₂削減効果がありました。1人当りでは約2.9kg-CO₂になります。この数値は算定最大値3.5kg-CO₂の83%に当たり過去最高を記録しました。冷房にかかる電気使用量は増加しましたが、反面その他の対策についてより前向きに捉え実践されていることを示しています。

2. 出前授業関係

2018 年度の実績

①2018 年度の実績は、小学 5 年生を対象に、延べ 18 校の小学校で 2,195 名、52 クラスに実施することができました。更に、県学校派遣事業で県立向の岡工業高校学校機械科 3 年生からオファーもあり、2 クラス 66 名にも対応しました。

今までのプログラムの内容も見直し、最新情報を取り入れリニューアルして授業に使用しました。また、事前打ち合わせ時に学校の希望を取り入れて一部修正・追加して学校オリジナルプログラムとして 7 校で実施するケースもありました。

2010 年度からの実績の推移は、図 2-1、図 2-2 に示す

②希望されたプログラムの内訳においては、依然として「地球温暖化」に関心が高いが、省エネグループの全プログラムに対して出前授業を実施することが出来ました。

プログラム毎の実施回数は下記の通りです(小数点は、1 回の実施で組み合わせて実施したもの)。

・「地球温暖化とは～見て・触れて・感じて～」	9.4 回	・「節電にみんなで取り組もう！」	3.3 回
・「はっぱはえらい」	4 回	・「水素が地球を救う」	1 回
・「エネルギーとは」	1.3 回		
・「大人の取り組み・省エネ・創エネ設備について」	1 回		

図2-1 参加数の推移

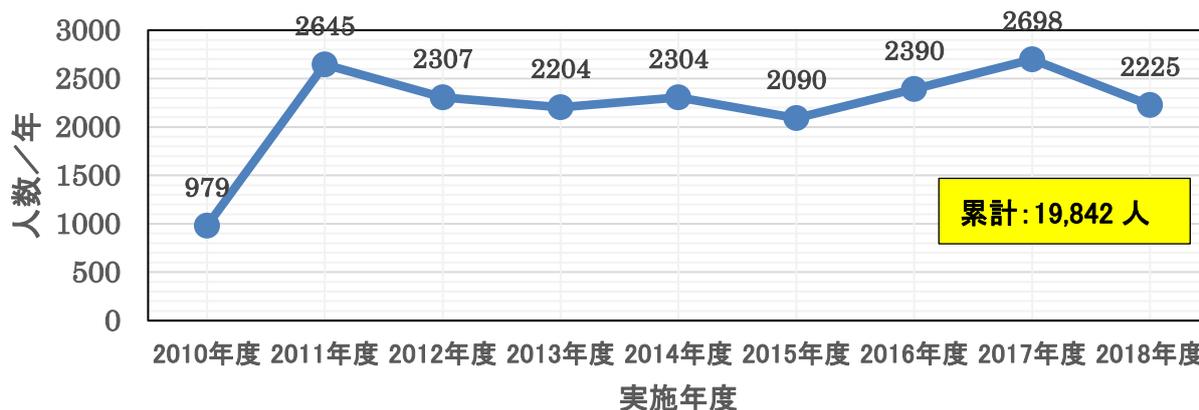
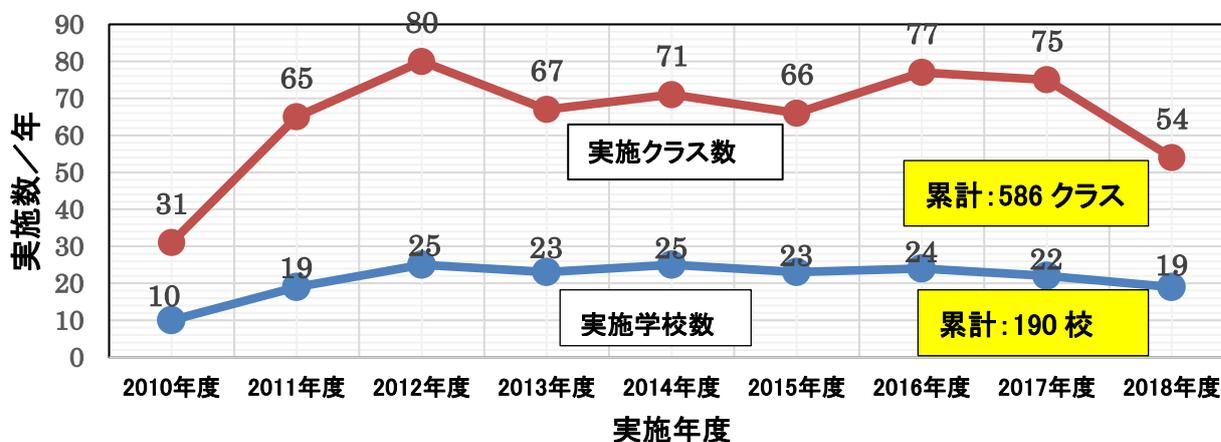


図2-2 実施学校数とクラス数の推移



- ③更に、出前授業後に実施したアンケートを集約・分析して、報告書を作成し報告しました(アフターフォロー)。報告の際一人一人の質問への回答も説明しています。1件の出前授業に対し、「事前打ち合わせ→出前授業の実施→報告」と3回学校に行くためその労力は大変ですが、先生方からは、「分かり易い授業だった」「学校の希望を取り入れて実施して頂き感謝」「ここまでの報告・対応に感謝」「自分の質問に回答が返ってきたと子ども達が喜んでいる」等の多くの感謝のコメントをいただき、今後の活動への大きな励みになっています。
- ④また、先生方や子ども達から多く寄せられているのは、「講義の内容が分かり易く楽しく学べた」「体験が分かり易い」「体験のお陰で講義の内容をより深く理解出来た」などのコメントでした。体験には、東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)との協働で、「温暖化模型」、「火力発電のデモ機」を借用し体験に活用しています。
- ・実際の発電の種類と仕組みの説明、火力発電のデモ機で発電時のCO₂の排出状況を説明
 - ・温暖化模型でCO₂の有る無しで温度上昇が異なることの体験
- これらの体験で、省エネ・節電でCO₂削減の意識付けに大きく貢献でき、体験をしたことで温暖化防止や節電・省エネなどの講義内容の理解度が深まり、「良く分かった」「実感出来た」「節電・節水に取り組む」「家族や皆に話す」などとの声が、アンケートに多数見られ、体験の効果が高いことが十分に伺えました。体験が、短時間の中で理解を深める重要な要素になっていることが明らかで、今後も継続して活用して行く様にします。
- ⑤「総合学習的な時間」で学習する「キッカケ作り」または「情報提供」の形で出前授業の要請を受けており、子ども達は、その後それぞれ課題を見つけて「調べ・検討・まとめ・発表」する学習でまとめたことを学内・地域の人々を対象に発表しています。その発表会にも、招待を頂き見学できました。子ども達が生き活きとして発表する姿を見学し、出前授業の効果が出ているのに感動しました。
- ⑥今年度は、センター主催の自治会・町内会での環境学習会の要請は有りませんでした。

3. イベント関係

2018年度の実績

18件のイベントに参画し、約1900人の参加者がありました。

企画展示の内容:展示=活動紹介ポスター、燃料電池模型ほか、体験=手回し発電
 工作=クリップモーター作り ()内は参加者数を示す。

- ① 5/9(水)市立小学校社会科教育研究会(市民ミュージアム)
 - ・主催:社会科教育研究会 ・グループ取り組み内容及び活動状況紹介(260人)
- ② 5/12(土)川崎市地球温暖化防止活動推進員研修会
 - ・主催:川崎市地球温暖化防止活動推進センター ・グループ活動状況紹介(30人)
- ③ 5/26日(土)「遊びの縁日」(川崎区・大島小学校)
 - ・主催:臨港中学校区寺子屋事業 ・展示&体験(約50人)、工作(10人)
- ④ 6/29(金)エコクロスマッチング(CCかわさき交流コーナー)
 - ・主催:地球温暖化防止活動推進センター ・展示等:ポスターセッション・参加30人
 - 6/1~30 環境月間(CCかわさき交流コーナー)に展示等で参加
- ⑤ 7/8(日)インターナショナルフェスティバル In カワサキ2018(国際交流センター)
 - ・主催:かわさき国際交流民間団体交流会ほか ・展示・体験、燃料電池模型(200人)
- ⑥ 7/21(土)夏休み自由研究シリーズ(高津市民館)

- ・主催:川崎市地球温暖化防止活動推進センター ・工作(25人)
- ⑦ 7/21(土)環境エネルギー・ラボ 2018inたかつ(高津市民館)
 - ・主催:環境エネルギー・ラボ実行委員会 ・展示・体験(50人)
- ⑧ 7/22(日)ギー・ラボ 2018inせたがや(世田谷文化生活情報センター)
 - ・主催:環境エネルギー・ラボ実行委員会 ・工作(20人)
- ⑨ 7/27(金)多摩川エコミュージアムせせらぎ館夏休み教室(せせらぎ館)
 - ・主催:NPO多摩川エコミュージアム ・工作(7人)
- ⑩ 8/3(金)夏休み!多摩区エコフェスタ 2017(多摩区役所)
 - ・主催:多摩区エコロジーライフ事業 ・工作(15人)
- ⑪ 8/4(土)夏休み自由研究シリーズ(高津市民館)
 - ・主催:川崎市地球温暖化防止活動推進センター ・工作支援:レモン電池(20人)
- ⑫ 8/19(日)生田緑地サマーミュージアム(生田緑地)
 - ・主催:生田緑地運営共同事業体
 - ・展示等:手回し発電、燃料電池模型(約200人)、はっぱはえらいゲーム
- ⑬ 9/8(土)「科学とあそぶ幸せな一日」(KO新川崎キャンパス)
 - ・主催:慶應義塾大学&幸区 ・展示・体験(約450人) ・工作(5人)
- ⑭ 9/23(秋分の日)自主活動(早野聖地公園)
 - ・展示・体験(約50人)
- ⑮ 10/7(日)かわさき家庭と地域フェア(教育文化会館)
 - ・主催:川崎区教育協議会 ・展示・体験(約50人) ・工作(15人)
- ⑯ 10/8(月)まなぼう!あそぼう!COOL CHOICE ひろば(ラゾーナ川崎)
 - ・主催:川崎市、東芝未来館、三井不動産 ・展示・体験(約400人)
- ⑰ 11/3・4 フェスタ'18生涯学習センター学園祭
 - ・主 催:川崎市生涯学習センター
 - ・展示等:省エネグループポスター掲示、手回し発電体験、燃料電池模型展示(75人)
- ⑱ 12/16(土)第5回川崎環境フォーラム(高津市民館、キラリデッキ)
 - ・主催:川崎市地球温暖化防止活動推進センター ・工作(10人)

2~3月の予定

- ⑲ 2/10(土)エネルギー・環境子どもワークショップin川崎2019(大戸小学校)
- ⑳ 3/21(春分の日)地球温暖化防止自主活動「展示」(早野聖地公園)2019

4.企画チーム

2018年度の実績

- ① 2018年度第1回推進員研修会で「川崎市地球温暖化対策推進実施計画」の活用の仕方
- ② 省エネグループでは電気の「FIT 買取制度の2019年度問題」を取り上げその検討内容を研修会で紹介しました。推進員研修会には出前環境にも常に自らのブラッシュアップが必要なので参加を奨励していきます。
- ③ 第6回環境フォーラム(2018/12/15開催)の環境絵画展の作品募集活動に今年も1役
一昨年、昨年に続いて今年も出前環境授業先で応募協力活動を展開。センターの他のグループと

連携して延べ5校で全319の作品点の応募を獲得しました(中でも省エネグループが担当した宮内小学校で約141点と全体の半分を占める割合)又、今年は全作品展示と当日の入選者表彰は出席率の良さと大会議室の舞台上で表彰したことも盛り上がりました。

④ 環境行政の方との意見交換会(2019/1/17)

講師:川崎市地球環境推進室 担当課長 喜多 智英氏

プレゼンテーマ:「川崎市の地球温暖化対策について」

~マルチベネフィットの地球温暖化対策などにより低炭素社会を構築~

開催期日 2019年1月17日(木) 18-19時の1時間

会場 福祉パル会議室

主な質疑 ・対策基本法リニューアルにかける川崎市の予算上の覚悟は?

・エコ暮らし未来館の活用度を上げるためには交通の便の確保

・太陽光発電の電力買取制度の満期に伴う買取電力代安価化~ゼロ円化で再生可能エネルギー活用化の意欲の減退対応、蓄電池の早期安価化

・たちばなゴミ処理施設稼働に伴うJRによるゴミ運搬手段の活用率低下の心配

⑤ 省エネグループ主催第4回公開講演会の開催

講師:木村和也氏(日本再生可能エネルギー総合研究所 代表)

演題:「地球温暖化と再生可能エネルギー」

~世界の動向と日本の現状、再生エネ活用の意義と地域活性化~

会場 高津市民館第5会議室 定員40名

5.広報

2018年度の実績

・省エネグループ通信 第14号(4月10日)・15号(7月18日)発行

公開講演会の内容を中心に発行

14号は1000部、15号は2,000部印刷し、従来同様に配布。

以上